

焼却施設のしくみを知ろう。



ごみを燃やすときに発生する熱を利用してお湯や電気を作ります。

燃やすときに出るガスは、減温塔で冷やした後に、細かいちりなどを取り除き、きれいにしてから煙突から出ていきます。

ごみは、850～950度の高温で燃やすので、ダイオキシンなどの有害なガスが発生しにくくなります。

焼却炉内の様子

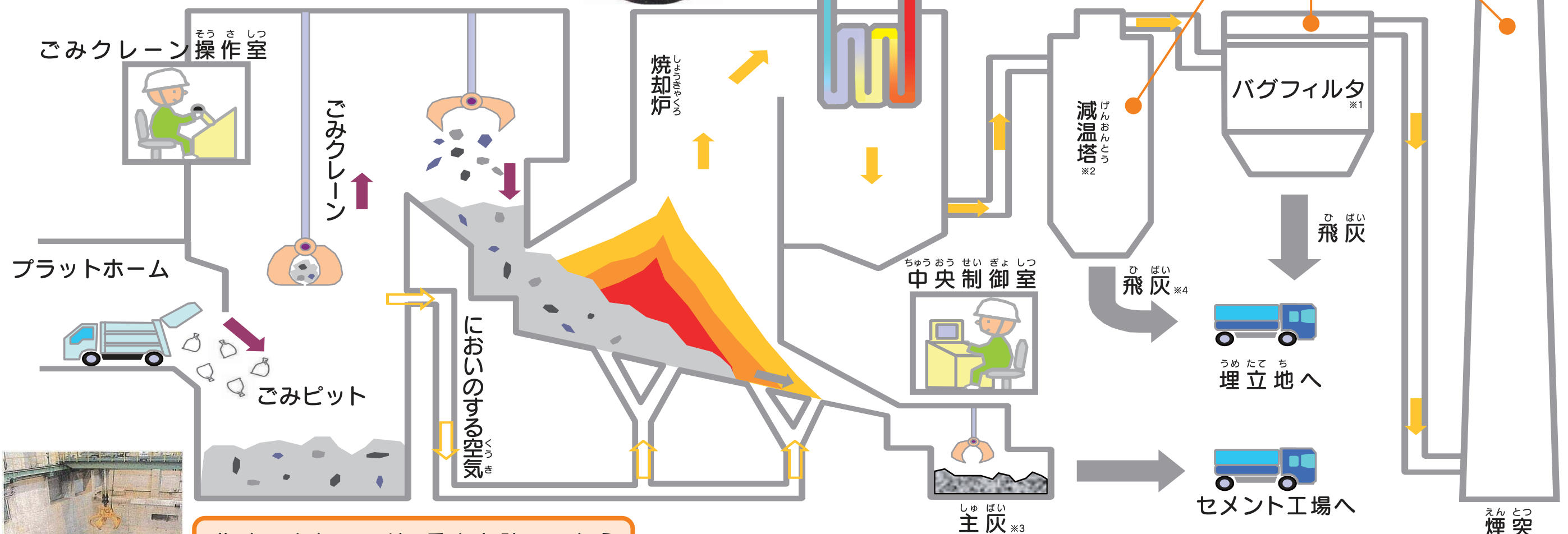


おんすい 温水



発電

蒸気タービン
発電機



集めてきたごみは、重さを計ってからごみピットに投入します。ごみピットのごみは、ごみクレーンで焼却炉の入口に投入します。

→ ごみ
→ ガス
→ 灰

- ※1 ガスの灰やちりなどを取る機械
- ※2 ガスの温度をバグフィルタが使用できる温度(約200度以下)まで下げる機械
- ※3 燃やした後に出る灰
- ※4 燃やした後に出るガスに含まれる灰

6 焼却施設のやくわりを知ろう。



焼却施設とは、ごみを燃やす施設です。

どうしてごみを燃やすの？

- ごみのいやなにおいをふせぎます。

- ハエの大発生や、病気の原因となる細菌の発生をふせぎます。



宮ノ陣クリーンセンターのプラットホーム

- ごみの重さや、かさを減らすことができます。

環境にやさしい取り組みをしているよ

- 焼却施設の近くに住んでいる人に、めいわくをかけないように、いやなにおいを消します。

- ごみを燃やした時に出るガスは有害な物質を取りのぞいて、きれいにして煙突から出しています。

燃やした時の熱も利用しているよ

焼却施設では、ごみが燃えるときの熱を利用して、電気やお湯を作っています。温水プールや足湯はその熱を利用しています。

また、作った電気は施設内で使ったり、電力会社に売ったりしています。



温水プール(上津クリーンセンター)



足湯(宮ノ陣クリーンセンター)

発電した電気の量
を表示しています。



最大で一般家庭約6,800軒分の電気を作ることができます。

7 3つの「R(アール)」でごみを減らそう!



ごみを減らすための
3R
(スリーアール)

- ① **Reduce**(リデュース) ・ ・ ・ ごみになりにくいものを選ぶこと。
- ② **Reuse**(リユース) ・ ・ ・ 使い終わったものを捨てないで、もう一度使うこと。
- ③ **Recycle**(リサイクル) ・ ・ ・ いらなくなったものを捨ててしまわずに再利用すること。

1 リデュース Reduce=ごみを減らす!

ごみを減らすために最も大切なことは、ごみになる物を買わないことです。
買い物をする前に「本当に必要か」をよく考えてみましょう。

買い物をするときはマイバッグを持て行こう。

豆知識

海洋プラスチックごみ問題などの解決に向けて、令和2年7月1日から全国でレジ袋の有料化がスタート。これは、プラスチックにあふれた生活を見直すきっかけとすることがねらいです。



詰め替えのできる物を選ぼう!



2 リユース Reuse=くり返し使う

いらなくなったものを、ごみとして捨てる前に、何かに使えないかを考えてみましょう。
ひと工夫するだけですてきなものに生まれ変わったりします。

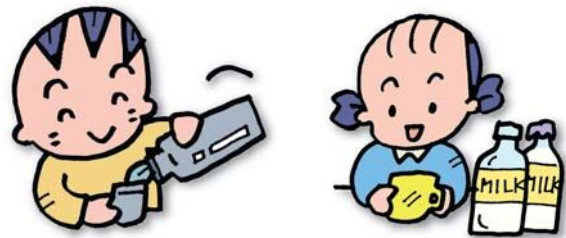
古くなった衣類やタオルは雑巾にして、最後まで使おう。



こわれたり、古くなったものは、修理や掃除をして使おう。



水筒を持ち歩いたり、リターナブルびんを利用しよう。



リターナブルびん…
牛乳や一升びん、ビールびんなど、回収・洗浄して、くり返し使えるびん

生ごみは、「ぎゅっと」ひとしぼりして出しましょう。



生ごみの約80%は水分です。
ぎゅっとしぼって、ごみ減量!

いらなくなった服や本などは、人にあげたり、リユースショップに持っていこう。



洋服や体操服などの「おさがり」もリユースのひとつです!

